

スポーツ通訳ボランティアを体験した卒業生メッセージ

在外公館派遣員

将来の自分の姿を
思い描くこと

村田 真悠さん

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻 2019年度卒業

参加した活動
・2017 冬季アジア札幌大会
・2018 平昌冬季オリンピック
・2019 高円宮杯フエッティングワールドカップ



外国語で人とつながる仕事があったという夢を持っていましたが、具体的に何から始めればよいか分からずいたときに、スポーツ通訳ボランティアに出会いました。自身のアスリート経験を活かして外国語を使って活動することは、言語を学ぶモチベーションを高めたのももちろん、とても興味深いものでした。目の前に溢れるチャンスを捉えて一歩踏み出してみると、なりたい自分の姿があらわになって見えてきます。活動経験を重ねるうちに、その姿が少しずつ、より明確になってくるのだと私は確信します。ぜひスポーツ通訳ボランティアの世界に踏み込んでください。何か新しい自分の姿が見えてくるはずですよ。

大手商社

実践の場での特別な経験は
何にも変えられない

谷津 佑典さん

英米語学科 2019年度卒業

参加した活動
・2016 千葉アクアラインマラソン
・2017 冬季アジア札幌大会
・2019 ラグビーワールドカップ2019



スポーツ通訳ボランティアへの参加は1人の人間として、1人の学生として大きく飛躍するきっかけとなりました。ボランティア活動によってできた世界中の知人や特別な経験は何にも変えることができません。また、通訳ボランティアは大学で学んだ言語や異文化理解の知識を実践の場で試すことができます。そこで失敗することも沢山あると思いますが、それこそが国際社会に貢献できる人材になる第一歩だと考えます。私は失敗からコミュニケーションや気遣いの大切さに改めて気付かされました。これは社会人の業務でも大切なことだと感じています。私がボランティア活動で多くの刺激を受けて成長できた様に、皆さんにもそのチャンスを掴み取って頂けたら良いと思います。

大手航空会社

間違いなく自身が
成長できる場

蛇沼 香野さん

英米語学科 2019年度卒業

参加した活動
・2018 平昌冬季オリンピック
・2019 World Taekwondo Grand-Prix
・2019 ラグビーワールドカップ2019



2年次に参加した平昌冬季オリンピックをきっかけに、様々なボランティア活動に参加させていただきました。活動を通して、通常の学校生活やアルバイトではできない、語学の面ではもちろんのこと、人と人との繋がりを感じることでできる貴重な経験をする事ができました。特に、語学を活かせる活動では、大学で学んだことを発揮したり、自身の改善点を発見できたことで、その後の語学学習のモチベーションにも繋がりました。さらに、就職活動の時期には、ボランティア活動での経験を元に自身の将来像について考えることができました。ボランティア活動は人により捉え方が様々で、私自身も参加を躊躇っていました。しかし、自身が成長できる場であることは間違いありません。みなさんも是非、ボランティア活動に参加してみてください!

高等学校英語教員

経験しないとわからない
「支える」スポーツ

穴戸 陽香さん

英米語学科 2015年度卒業

参加した活動
・2014 JA全農世界卓球東京大会
・2014 KWF世界空手道選手権
・2014 世界エアロビクス選手権



「違った角度からスポーツを見てみたい」とそんな気持ちで始めました。スポーツ通訳ボランティアでは、通訳はもちろん、書類の翻訳や日程調整、会場アナウンスなど、普段できない様々な経験をしました。多くの人と関わる中で、自分自身を顧み、鼓舞するきっかけにもなっていると感じています。この経験は、誰にも話せない、私だけが話せる強みです。「支える」スポーツを経験した今、今度は「伝える」スポーツをしたいと思っています。

日本スポーツ協会

“選手の印象は
通訳の言葉で決まる”

高橋 愛さん

アジア言語学科 韓国語専攻 2015年度卒業

参加した活動
・ジェフユナイテッド市原・千葉
・クボタスピアーズ
・2014 千葉アクアラインマラソン



最も印象に残っている活動は、ジェフユナイテッド市原・千葉での韓国選手通訳です。試合後の記者対応の際の韓国語通訳を担当しました。活動を始めた当初は留学で身につけた韓国語と、女子サッカー部での経験でそれなりに出来るだろう..なんて甘い考えでしたが、通訳はそんなに簡単な仕事ではありませんでした。試合中の選手の動きやチームの流れ、監督のコメント等をメモし、韓国語を準備して通訳に臨んでいました。スタッフの方がおっしゃっていた「選手の印象は通訳の言葉で決まる」という言葉の通り、言葉一つ一つの責任感と事前準備の大切さを学んだ活動でした。

国際協力機構

就活で胸を張れる
通訳ボランティアでの経験

佐久間 大樹さん

英米語学科 2016年度卒業

参加した活動
・2014 世界フィギュアスケート選手権
・2016 U-15 Baseball World Cup
・2017 冬季アジア大会札幌大会



大学生活の中で、最も力を入れたことは何ですか?と就職活動や大学院等への入試の面接の場面で必ず聞かれたこの質問に対して、私は決まって「スポーツ通訳ボランティアの活動です。」と、胸を張って答えることができました。大学1年次の春休みに初めて参加して以降、4年間でメジャーなものからパラスポーツまで様々な競技に関わらせていただきました。活動を通して、自分の知見を広げ、様々な業種・競技に関わる人と繋がり、大学生活の4年間で大きく成長する事が出来たのは、スポーツ通訳ボランティアがあったからだと確信しています。

SPORTS × LANGUAGE

スポーツ通訳 ボランティア

スポーツ通訳ボランティア活動とは

本学の教育理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、国際的なスポーツイベントに携わる機会を学生に提供することで、その実践の場において言語の運用能力や社会性を育み、そして人間性を高め国際社会に貢献できる人材を育成すること、それが神田外語大学スポーツ通訳ボランティア推進室が目指す活動です。



スポーツと言語で実現する、真の国際人。

神田外語大学体育・スポーツセンターは本学の教育理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、特にスポーツにおける国際イベントの参加経験を通じ、言葉の運用実践経験や社会経験の積み重ねによって、より豊かな人間性の醸成と社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。



2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決まりました。本学ではこれまで国際スポーツ大会に多くの通訳ボランティアの学生を送り出し、大会運営を支えています。来日する海外選手たちとの交流で育まれる友情や連帯感はずっと平和でよりよい世界を実現する大きな手立てになると信じています。

本学は、建学理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、「スポーツ通訳ボランティア」に取り組んでいます。日頃の学習の成果を発揮し、「おもてなしの心」で世界中の皆様をお迎えください。そして、言葉や文化を超えた交流を深め、世界平和の礎を築いてください。この経験は必ず、将来の大きな飛躍につながることでしょう。

お互いを認めあい尊重しあう、あたたかな交流が生まれることを期待しています。



青春時代の様々な「出会い」は学生たちの人生を愉快にします。

多くの出会いは自分の意思とは関係なく訪れますが、自分から意図的にそれを求めていくと多種多様な人々に出会えて面白いものです。

学生時代にオリンピック・パラリンピックやラグビー・ワールドカップ日本開催を迎え、世界各国の人々に出会える学生たちは幸せです。スポーツイベントには、競技をする人、観る人に加え「支える人」が参加し感動を共有します。

これを機に「スポーツ通訳ボランティア」に参加し、自分の外国語技能を磨き、実践で腕試しをしてみたらよいと思います。恐らく、失敗もあるでしょうが誰かの役に立つことはうれしいこと。

自分の得意なことや貢献する社会参加でより自信がはずです。さあ、新しい「出会い」を求めて通訳ボランティアに挑戦しましょう。



オリンピック・パラリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化・グローバル化は急速に進行しています。スポーツは国籍を問わず、言語・人種・宗教を乗り越え、世界の人々に喜びと感動、そして勇気を与える力を持っています。その意味ではスポーツは世界をつなぐ平和の共通語であり、優れたコミュニケーションツールでもあります。神田外語大学からは毎年、国内外で開催される国際スポーツ大会・イベントに多くの学生を通訳ボランティアとして送り出しています。参加した学生からは「学んでいる言語以外に、ほかの言語を学びたい意欲がわいた」、「外国人選手と接し、異文化理解力が深められた」など活動の充実さを窺います。

この経験を通じ、客観的な自己の言語能力に気づき、外国語学習へのモチベーションアップにつなぎ、グローバル社会で活躍することを願ってやみません。

全国外大連携プログラム 通訳ボランティア育成セミナー

ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会等、国内においてはこれまで以上に世界大会の開催が増加し、その運営の一躍を担う通訳ボランティアの重要性は益々高まっています。全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーでは、神田外語大学において2007年よりこれまで蓄積された実績と経験をベースにカリキュラムを組み、全国外大連合として外国語を学ぶ学生の語学力や、コミュニケーション力・主体・積極性を備えたグローバル人材を育成しています。これまでに2,000名近い学生がセミナーを修了し、様々な分野で活躍しています。



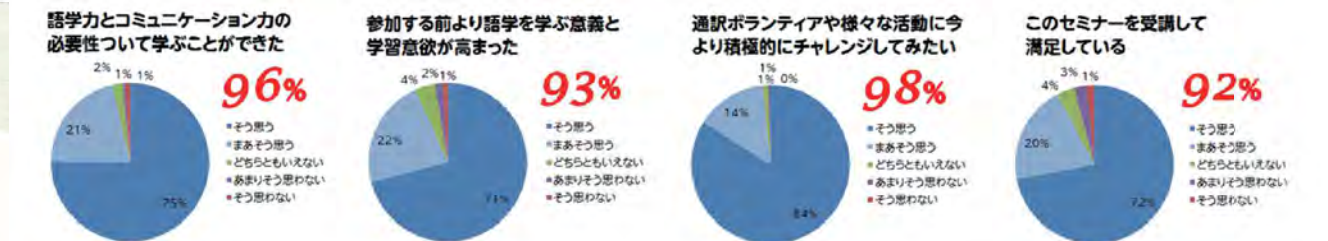
第7回全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー集合写真（2019年8月神田外語大学にて）

主な活動内容

スポーツ通訳ボランティアの業務は、各イベントによって異なりますが、主に大会運営業務、海外選手団サポート、大会期間中の各国選手のアテンダント、式典・会議での通訳など、様々な場面でイベント運営に携わっています。

大会運営業務	海外選手団サポート	選手アテンダント	式典や会議の通訳業務

参加後の自己評価



第7回全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー受講後アンケートより

2007～2019年度の参加実績及び主な大会名（参加者人数：1347名／参加大会：159大会）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 第22回ソチオリンピック冬季競技大会（2014） 高円宮杯 フェンシングワールドカップ（2014～） ジャパンウィルチェアラグビー競技大会（2016） 第3回WBSCいわき U-15 野球大会（2016） ジェフユナイテッド市原・千葉 選手通訳（2016～） 文部科学省 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（2016） | <ul style="list-style-type: none"> 2017 冬季アジア札幌大会（2017） 世界少年野球大会 千葉大会（2015）、横浜大会（2017） 女子ソフトボールニュージーランド代表チーム強化合宿（2017） 第10回アジアエアガン選手権大会（2017） 2018平昌冬季オリンピック（2018） ラグビーワールドカップ2019日本大会（2019） |
|---|--|

英語	韓国語	中国語	スペイン語	ポルトガル語	ロシア語	インドネシア語	ベトナム語	タイ語
951名	174名	116名	65名	21名	6名	3名	3名	4名

運営団体から求められた言語は上記言語のみならず、イタリア語、フランス語など多岐にわたります。

教育プロセス

